

ラジオCMオンライン運用説明会<広島>
「ラジオCMオンライン運用の
“いまとこれから”」

2018.11.5

ラジオCM運行WG

末澤 淳

本日の説明内容

1. スタート後の進捗
2. オンライン搬入への一元化
3. 利用状況・利用促進
4. 課題整理
5. 解決への取り組み
6. まとめ

1. スタート後の進捗

<Radi Pos関連>

17年4～9月

17年10月～18年3月

18年4～9月

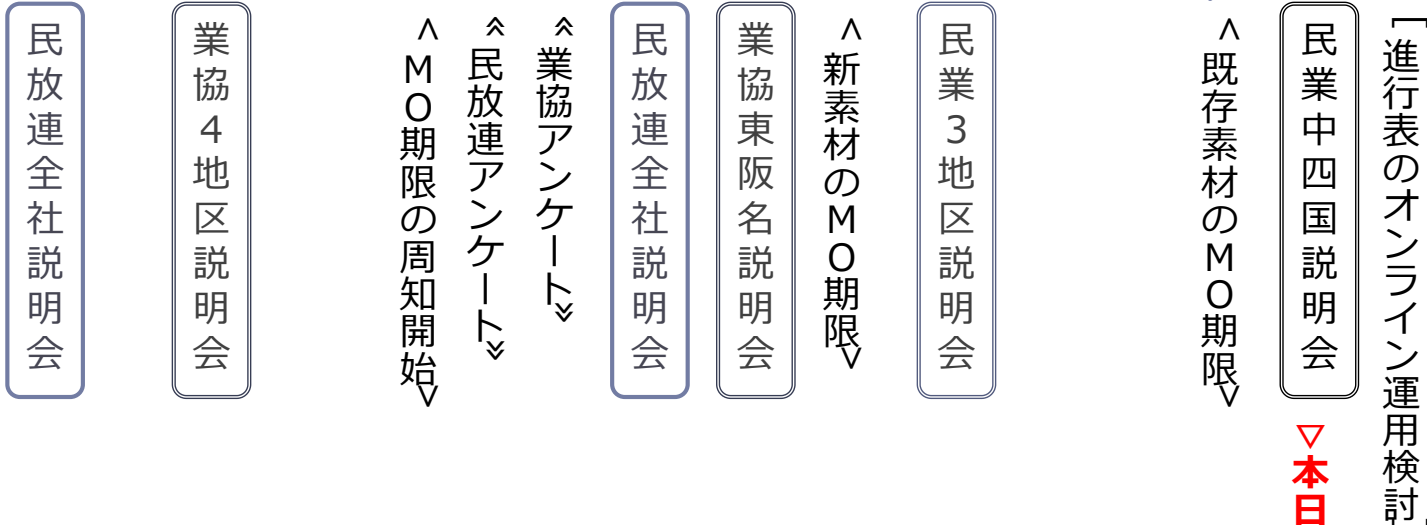
18年10月～19年3月

実運用開始～運用安定化

利用申込・普及促進

移行促進・機能拡充

オンライン一元化



* 3月末:MOディスク販売終了

2. オンライン搬入への一元化

＜MOの搬入期限＞

ラジオ局へのCM素材搬入は2018年10月、
オンラインに一元化。

- ・昨年度よりMOの搬入期限について、民放連と業協が協力して周知活動を実施してきた。
- ・民放連・業協で制定した「ラジオCM素材搬入基準【2018年3月改訂版】」が10月1日から適用開始。
- ・MOディスクをはじめとする他の搬入手段はすべて搬入基準外となった。

* アド協：日本アドバタイザーズ協会

JPPA：日本ポストプロダクション協会 に事前連絡

《ラジオCM素材搬入基準》

- ・民放連ウェブサイト：<https://j-ba.or.jp/category/references/jba101574>
- ・業協ウェブサイト：<https://www.jaaa.ne.jp/?p=5799>

**ラジオ局へのCM素材搬入は
2018年10月、オンラインに一元化！**

民放連・業協ラジオCM運行合同WG

- 日本民放放送連盟（民放連）ラジオ委員会、日本広告業協会（業協）ラジオ小委員会
が制定した「ラジオCM素材搬入規程【2018年3月改訂版】」*が2018年10月1日か
ら適用を開始します。
- これによりMOディスクをはじめとする他の搬入手段はすべて搬入基準外となります。
- CM運行の円滑化、合理化のため、オンライン**による搬入にご理解・ご協力くださ
いますようお願いいたします。



MOディスク



CDや格納メディア



メール添付



一般のクラウドサービス

* ラジオCM素材搬入基準は以下からダウンロード可能です。

民放連ウェブサイト：<https://j-ba.or.jp/category/references/jba101574>

業協ウェブサイト：<https://www.jaaa.ne.jp/?p=5799>

** 現時点で運用されているラジオCMオンライン送信システムとしては、セキュリティが
担保されている広告E D IセンターのRadi Pos（ラジポス）があります。運用方法は
「ラジポス」で検索してください。

お問い合わせ先

民放ラジオの対応について

民放連業務部 (e-mail:radio@j-ba.or.jp, tel:03-5213-7710)

広告会社の対応について

業協事務局 (e-mail:kimura@jaaa.ne.jp, tel:03-5568-0876)

Radi Posについて

広告E D Iセンター Radi Pos担当 (e-mail:radipos@ad-edi.com)

Radi Pos お問い合わせフォーム (<https://radipos.jp/Home/Inquiry>)

※チラシ

3. 利用状況

<搬入状況>

年月集計	本数	広告主数	広告会社数	素材数
2017年 9月	3,505	42	18	285
10月	2,334	37	16	268
11月	2,906	50	17	269
12月	2,959	76	29	446
2018年 1月	3,322	54	27	375
2月	1,729	65	31	296
3月	4,101	127	56	712
4月	4,697	183	95	883
5月	3,962	196	107	895
6月	<u>8,057</u>	233	130	1,335
7月	5,497	260	131	1,131
8月	4,389	248	131	1,206
9月	6,659	<u>318</u>	<u>182</u>	<u>1,523</u>
累計	58,427	(※)859	(※)300	(※)8,675

* 広島:64本
 広告会社:12社

※重複を除く

搬入本数は累計で6万本近く。今年度は月間5,000本以上のペースで、
 順調に推移しており、広告主数は800社を超えた。 *制作・ポスプロは217社登録

3. 利用促進:全国展開

<地方の広告会社/制作・ポスプロの利用拡大>

10月のオンライン搬入への一元化へ向けて、昨年度は東阪名にて説明会を開催、今年度はその他の地区向けに説明会を実施中。

「ラジオCMオンライン運用説明会」

- ・九州(福岡)地区 6/20(水) 出席166名104社
- ・東北(盛岡)地区 6/27(水) 出席 76名 45社
- ・北海道(札幌)地区 7/20(金) 出席 63名 43社
- ・中国・四国(広島)地区 11/5(木) <本日>

共催：日本広告業協会・(各地区広告業協会)

協力：日本民間放送連盟、日本ポストプロダクション協会、日本アド・コンテンツ制作協会

「Radi Pos勉強会」

- ・栃木(宇都宮)地区 8/30(木) 参加45名

主催：栃木県広告業協会 協力：栃木放送、エフエム栃木

4. 課題整理

＜全般的な課題＞

非ユーザー案件の取り込みによる利用範囲の拡大 ex.個人事業主、単発利用
機能追加による活用手段の拡張 ex.代行申請、オプション機能(放送局向け)

➤ 広告会社

- ・ 共通コード未取得の広告主の活用 → 広告会社が“代行申請”でサポート

➤ 制作会社/ポスプロ

- ・ RadiPos未登録の広告会社からの発注 → 登録案内

➤ 放送局

- ・ RadiPos未登録の広告会社への対応 → 登録案内
- ・ 直営業案件での活用 → “オプション機能”による素材搬入
- ・ 局制作/ネット案件での活用 → “オプション機能”による素材登録/搬入

※オプション機能：従来の“広告会社機能”を放送局向けに改修

5. 解決への取り組み

<進行表のペーパーレス運用>

CM素材と進行表の一体運用の確保

CM素材のオンライン送稿により、素材と進行表(オフライン)の搬入手段が分かれたため、放送局側で確認・照合等の作業負荷増となる場合もでてきた。

また、依然としてアナログ運用による手作業が放送局・広告会社双方で残っている。進行表のオンライン化によって一体運用を可能にすることで、更なる効率化を進めるべく、民放連・業協で検討中。

※今年度内に概要を固め、来年度以降の実現を目指している

<データ取り込みへの対応>

割付作業の負荷軽減

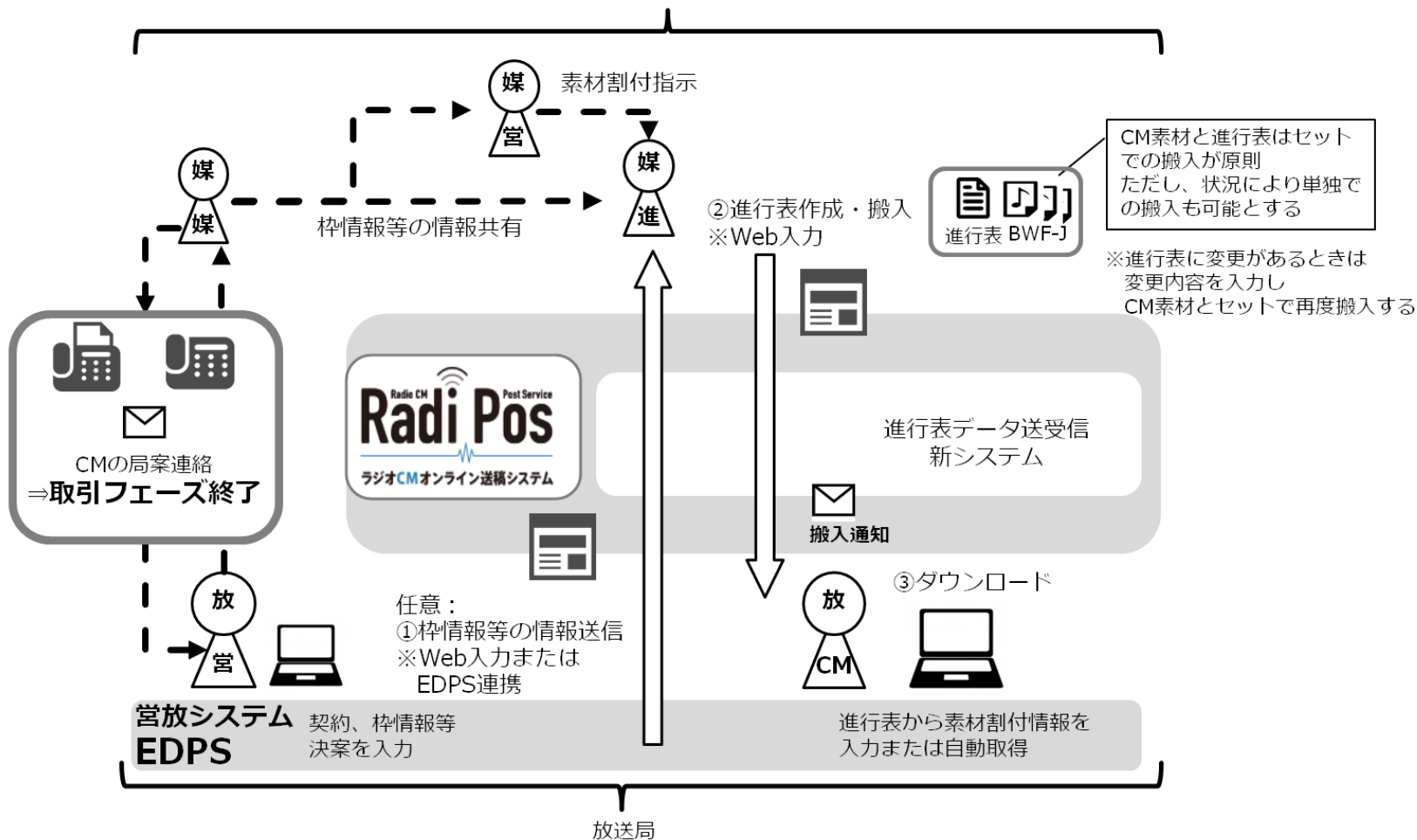
放送局は広告会社からの進行表到着後、営放システム(EDPS)に手動で割付作業をする場合が多い。この手作業の解消は、進行表データをEDPSに取り込むことで可能になる。

(EDPSのリプレースや改修時にデータ取込に対応できれば、割付作業の効率化も可能)

5. 解決への取り組み

<進行表のオンライン運用フローイメージ>

媒体扱い広告会社



6. まとめ

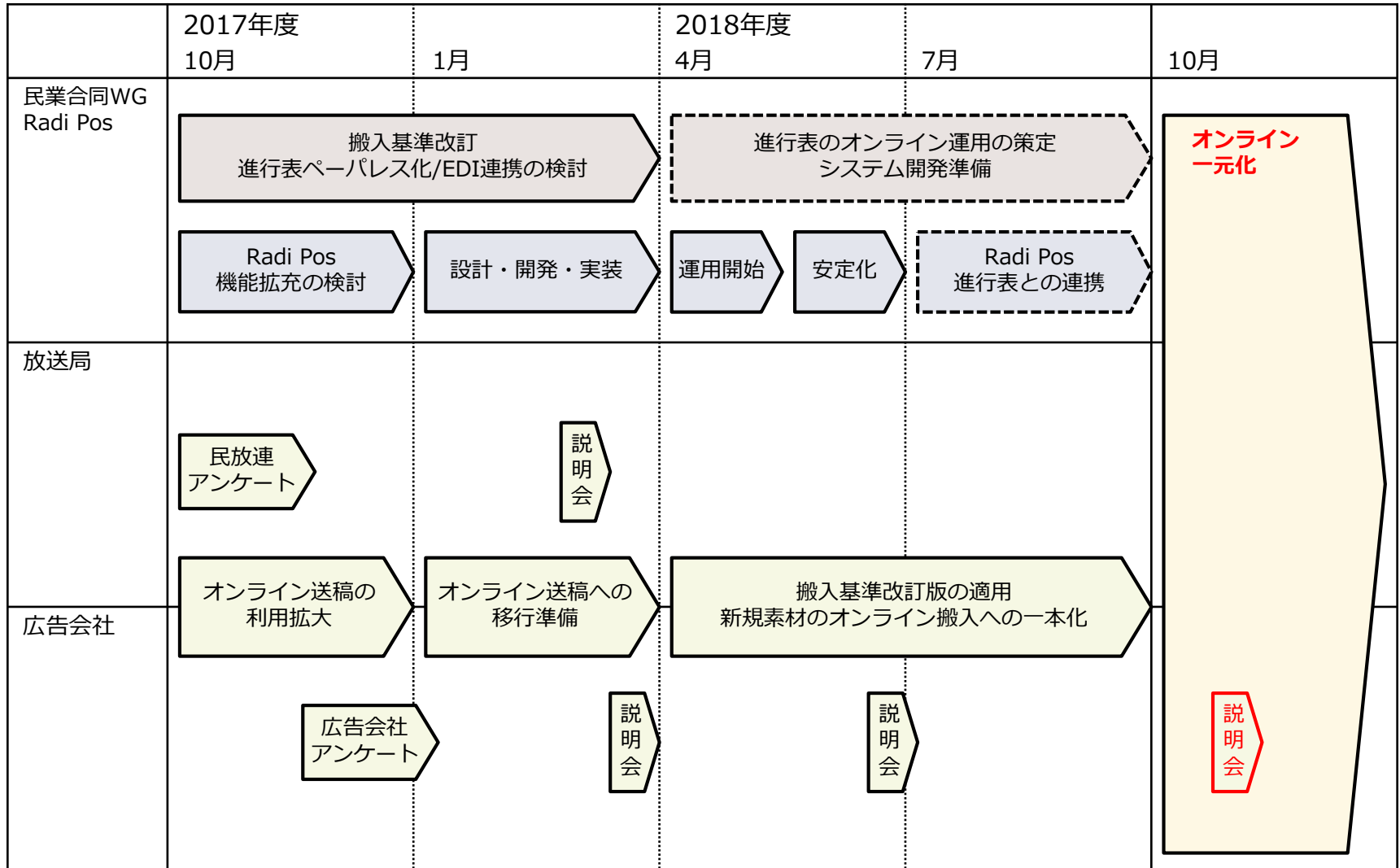
昨年4月の運用開始から一年半、オンライン送稿は着実に普及しており、今年10月にはMO搬入を終了し、オンライン一元化にこぎつけた。

オンライン一元化によって、素材送稿の効率化が進む一方で従来からの進行表と素材の一体運用が失われたことで、放送局と広告会社の双方で、デジタル・アナログの並行作業の負荷が生じている。

民放連・業協は協力して、オンライン一元化を進めつつ「Radi Pos」を更に多くのユーザーがより幅広い場面で活用できるように進行表との連携など、使い勝手の向上を計画している。

中国・四国でも、全てのラジオCM関係者の業務改革につながるよう地元ラジオ局・制作会社と協力してオンライン化を加速していきたい。

スケジュール



推進体制 (2018年度)

